

会議の要旨（議事録）

会議の名称	令和3年度 第1回鳥栖市環境審議会		
開催日時	令和3年11月29日(月) 午前10時	開催場所	鳥栖市役所3階大会議室
出席者数	10人	傍聴人数	0人
議題	(1) 第2次鳥栖市環境基本計画の進捗状況について (2) 第3次鳥栖市環境基本計画(案)について		
配布資料	次第 【資料1-1】令和2年度環境レポート 【資料1-2】令和2年度事業評価、事業計画 【資料2-1】第3次鳥栖市環境基本計画(案) 【資料2-2】第3次鳥栖市環境基本計画策定の概要 【資料2-3】計画策定スケジュール		
所管課	(課名) 環境対策課 (電話番号) 0942-85-3561		

## 令和3年度第1回鳥栖市環境審議会 議事録

- 【日時】 令和3年11月29日（月） 10時00分～12時00分  
 【場所】 市役所3階大会議室  
 【議題】 （1）環境基本計画の進捗状況について  
 （2）第3次鳥栖市環境基本計画について  
 【出席】 岡島会長、松田副会長、徳淵委員、江口委員、境委員、  
 筒井委員、諸永委員、木村委員、永友委員、石丸委員  
 【欠席】 吉原委員、藤田委員、梶山委員、田中委員、天野委員  
 【事務局】 高松課長、北係長、牛島主任、石橋主事

事務局	<p style="text-align: center;">— 議題1 環境基本計画の進捗状況について説明 —</p>
委員	<p>全国的に高齢化が進み、2020年の調査で65歳以上人口が全国では3,617万人、前年の2019年度は3,587万人なので1年で30万人増加していることとなる。一方で、総人口は29万人減少となっている。つまり4.5人に一人が65歳以上という超高齢化社会が到来する。33%の人がひとり住まいという現状では、年齢が上がれば子ども宅での同居、施設への入居、あるいは死亡によって家一軒丸々ごみになってしまう。1日何十人と亡くなる、または引っ越すという状況で、家庭ごみ、可燃物、不燃物も大きく増えると予想されるが、その対策について考えているか。</p>
事務局	<p>高齢化による空き家対策については、建設課を中心に環境対策課も関わり総合的に対応している。今後増えていく可能性もある。空き家といっても相続等の関係もあるので、関係課と協議しながらできるところは対応していきたい。</p> <p>空き家から出るごみに対しては、可能なものはリサイクルを行う制度づくりも必要だと思う。ただ、当事者で長く住まわれていた方で物を大量にためてある場合、処分するものが多いと感じている。粗大ごみとしての処理量が増えるのも致し方ないと思うが、できるだけリサイクルできる仕組みづくりを進めたいと思う。</p>
委員	<p>空き家というよりゴミの問題なのだが、3号線沿いにお住まいだった方が入院された際、いわゆるゴミ屋敷で、6トントラックで6台ほどのゴミだった。それほど量は珍しいのかもしれないが、今後高齢者が死亡したり施設に入ることが増えると、ゴミが急増するのではないかと。新設のごみ処理場が、現状のごみ処理場よりも多く処理ができるか否かが聞きたかった。</p>
事務局	<p>鳥栖市に建設中の広域の新ごみ処理場には、大型の焼却炉とリサイクル施設を設置する予定である。神埼・吉野ヶ里の西側では人口が減っているため、相対的なゴミの量もゆくゆくは減っていくのではないかと考えている。2市3町のピー</p>

	<p>ク時のごみ排出量に対応する処理能力の施設を計画している。完成すれば皆さんにご紹介したい。</p>
委員	<p>美化活動について、市民の働きに頼っているところが多い。清掃や道路横の草刈りの撤去などに市の予算を割いてほしい。</p>
事務局	<p>住環境などの保全是大切な問題なので、持ち帰って検討する。</p> <p>清掃活動には様々なかたちで市民の皆さんにご協力いただき感謝している。一方で、ポイ捨てなどをする人も一定数いる。その点への対応を市民の方と協働しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>いつも車に乗っているので、道路の脇の草が非常に気になる。道路を作る際から、そもそも植物を植えないなど今後は配慮いただきたい。また、道路の白線部分が消えてなくなっているところも近頃目につく。その辺も含めてきれいな環境を整えてほしい。</p>
事務局	<p>道路里親制度があるがなかなか増えていない現状がある。道路沿いの草を処理等のボランティアで広まっていけばと思うが、そのみに頼るのはよくないと思っている。</p>
会長	<p>観光課との連携はあるか。</p>
事務局	<p>観光課との連携は現状ない。道路は国管理・県管理・市管理とそれぞれある。確かに夏場は特に道路沿いの草が伸びて車に当たるときもあり、草刈りについての苦情が環境対策課に来る時があり、それを道路管理者にお伝えしている。国や県も予算の制約があるので、年に数回の対応となっている。どれだけ予算を付けられるかは難しいところがある。</p>
会長	<p>いくつか関連するところのパートナーシップで良い方向に進めればという意図で発言したところである。</p>
委員	<p>道路里親制度に参加しているが、一年に一回でいいので、参加されている方の話し合いの場を設けてほしい。また実績に応じて地域振興券を出すなどのアイデアはどうか。心意気でやれているうちはいいが、そのうちめげてくる。その時に市に支えてほしい。そして仲間がいるという実感がほしいので、せめて市からの情報提供などをお願いしたい。できれば制度に予算を少しでもいいのでつけてほしい。</p>
事務局	<p>ご意見について直接の担当課は別のため、追ってご返答する。</p>
会長	<p>リサイクルについては知っている人が多い一方、リユースとリデュースがなかなか意識されておらず、教育の問題もあると思う。リユースは再使用ではなく、</p>

委員	<p>例えば共有やシェアリングなど、言葉を置き換えた方がよい。</p> <p>取組の柱7、8はSDGsの4や17に関わることだと思う。問題提起をするばかりではなく、自分の頭で考え、対話的な学びを行うことが重要だと考える。</p> <p>今建設中のゴミ処理場ができあがると、今とゴミの回収方法は同じか。もしくはプラスチックごみも一緒に燃やしてエネルギーに変えるようになるのか。ゴミの分別方法、回収方法は現在と違った方法となるのか聞きたい。</p>
事務局	<p>収集方法については鳥栖市に合わせる形で進めている。資源ごみも分別するように調整中である。</p> <p>プラスチックごみの収集方法についてはまだ決まっておらず、今後協議を行う。大幅に変わることはないと思うが、分別機能は大幅に上がっているのので、例えば燃えないごみと空き缶と一緒に集めて機械で分別するなどの微調整はあるかもしれない。</p>
会長	<p>リサイクル率・資源化率は、リサイクル品の流通・販売については考慮されているのか。例えばリサイクルは引き受けたが結局品物が売れない状況にはなっていないか。</p>
事務局	<p>あくまでごみを資源化できた量の記載にとどまっている。リサイクルされたものの行先は反映していない。</p> <p>細部を確認し、再度お伝えする。</p>
委員	<p>三養基西部リサイクルプラザで月に一回粗大ごみの中からまだ使えるものをチョイスしてペンキの塗り替えなど修復したものを販売する取組（もったいなか市）がある。本施設には、販売されているもの以外にもまだ使えるものはあるようなので、選定のセンスを上げれば買い手がつくと思う。</p>
委員	<p>— 議題2 第3次鳥栖市環境基本計画について説明 —</p> <p>P.31「温室効果ガス排出量の現況推計」について、約33%減少とあるが37%が正しいのではないかと確認をお願いしたい。</p> <p>第3章の取組の柱①内行政の主な取組に「市全域の自然環境の情報を分かりやすく紹介します」とあるが、市はどのような調査を行っているのか。生息調査などを行っているのか。</p> <p>取組の柱⑤の行政の主な取組みについて、「農業や防災などの各分野における適応策を進めます」とあるが、今自然災害が予想以上に発生してきている。市が作成したハザードマップは良いものだと思うので、このマップの活用も重要だと考える。</p> <p>また、新ゴミ処理場から発生する余剰電力の利活用についての考えをお聞きたい。</p> <p>全体的に、市民および事業者の連携による取組が抽象的だと感じる。例えば、</p>

事務局	<p>取組の柱⑤において、市民の取組としては冷暖房の適正温度管理、省エネ機器を選ぶように努める、事業者の取組としてはクールビズの推奨など具体的に書けると理解しやすいと思う。</p> <p>P. 31 の数値について、確認を行う。</p> <p>生息状況などの調査は行っておらず、紅葉や桜・藤の開花情報などの情報発信を想定している。</p> <p>ハザードマップについては、農業の面でも、農林課が農業用ため池のハザードマップを作成しているので、農家さんなど関係する区民の方には情報共有されていると考えている。</p> <p>新ごみ処理場はエネルギー回収型であり、熱を電力に変えて供給する。余剰電力は民間に売却し運営費に充てる計画である。</p> <p>市民および事業者の取組については、この内容を具体化すると計画のボリュームが増えてしまうと考えている。具体策については小学校への出前講座などの場などでいろいろな情報をお伝えしたいと考えている。</p>
委員	<p>環境レポートの2点目の柱①で令和3年度の目標値を見ると小学校の保護者が対象となっているが、計画素案ではそうではなく、中学生になっている。</p> <p>また、取組の柱①「緑の豊かさに関する市民満足度」、取組の柱⑥「リサイクル率」、取組の柱⑦「環境をテーマとする講演会・勉強会などへの参加意向」の目標値が下方修正されているのはなぜか。</p>
事務局	<p>アンケートについては、環境レポートと環境基本計画とで対象が異なる。環境レポートでは小学生（4・5年生）の保護者を対象としている。環境基本計画においては市民アンケートの他に、今回はプラスして中学2年生を対象とした中学生アンケートを実施した。</p> <p>緑に関しては今後の宅地開発によりまちなかから緑が減少するだろうということを見越して緑の豊かさに関する市民満足度の下方修正を行った。</p> <p>リサイクル率は、第7次鳥栖市総合計画との整合、および近年の推移を鑑みて下方修正を行った。</p> <p>環境をテーマとする講演会・勉強会などへの参加意向についても、近年の指標の低下傾向を踏まえている。</p>
委員	<p>処理施設新設により、リサイクル率は上がるのではないか。</p>
事務局	<p>目標値については、新設する処理施設の処理能力等を切り離して、取組の継続的な実施によるものとして設定している。</p>
委員	<p>計画策定スケジュールにパブリックコメントがあるが、なかなか意見が出ず、広報に問題があると思っている。市報だけではなく各地の区長や市民活動ボランティアに協力を仰ぎ、意見の収集数などの目標値を定めるべきだと考える。</p>

事務局	<p>パブリックコメントについては、市報・ホームページ・市民課横のデジタルサイネージに掲示を出す予定である。</p> <p>最近では嘱託委員会にて、環境対策課の職員からの案内も行っている。</p> <p>また、情報を積極的に受け取る市民以外に周知を広げることは課題だと思っているところである。</p>
委員	<p>ホームページは若い人向けのメディアなので、高齢者にとっても意見が言える広報を考えてほしい。</p>
委員	<p>市報が一番の情報源であり、市からの発表はすべて掲載されている。</p> <p>区長会への回覧はあまり目に留めてもらえないと思うので、予算を付けてさらに周知を行うことは疑問を感じる。</p>
会長	<p>言うは易く行うは難しということを重ね承知した上で申し上げるが、環境と共生するライフスタイルについての事柄をどれだけ入っていけるか、ということが一番のバリアかなという気がしている。コロナ禍で催しが中止となったから数値が悪くなったという理由は本来おかしいと思う。というのは、催しがないと数値は上がらないのだろうか。そうではなく、それぞれのライフスタイルの問題になってくると思っている。</p> <p>また近年のネット社会において、自分の欲しい情報だけにアクセスできる傾向がある。市報をどう見てもらうか、どのように情報提供するか検討の必要がある。</p>
会長	<p>アンケートについて、対象と時期が異なるということで、時間的な要素と、空間的な要素、それをどういうふうに整合させていくかは課題となる。アンケートを取る側としてはズレを意識してアンケート結果を見ていくことが重要だ。</p> <p>また、宅地と緑の豊かさについて、海外などではそこに生育していた樹木を残している。獣害などの社会問題がある中で、自然との付き合い方を考えることは必要だと思う。</p>
委員	<p>駅前のマンションやアパートには自治会未加入の方がいるので市報が届かない。管理組合が出来ていないことが要因になっている。市からもマンション建設の際は自治会加入について促しを行ってほしい。</p> <p>取組①の関連だが、山手のイノシシの害が多い。サル問題もある。例えば佐賀大学などと連携して、生体基礎調査などを行うのはどうか。市の置かれている状況を把握し、市民にも関心を持ってもらえるようにしてほしい。</p>
会長	<p>担当の先生にお伝えする。生態系の研究者は減少傾向にあるが、条件が揃えば一緒に取り組めればと思う。</p>
委員	<p>市報の話に関連して、私の住んでいる地区では、新規で建設されるマンションについて、マンション側と区長との協議があり、区費やごみ回収、市報の配布等について覚書を交わし、市に報告するというプロセスがある。マンション建設の</p>

<p>会長</p>	<p>際は市から、区長さんに相談するよう促してもらう必要があるのではないか。</p> <p>環境審議会では、自然環境だけではなく、パートナーシップの形成についての議論は非常に重要かと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ゴミ捨て場設置については環境対策課に登録があるため、環境対策課に情報があるが、自治体の加入案内に関しては環境対策課では行っていない。今後、総務に情報提供する流れを作るなど、取り組めることを検討していく。</p>
<p>会長</p>	<p>鳥栖市地球温暖化対策実行計画について、地球温暖化の防止のために我慢をするニュアンスではなく、生活の質の向上を図るような書き方が望ましいと考える。他にご意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>(意見なし)</p> <p>— 議事終了 —</p>